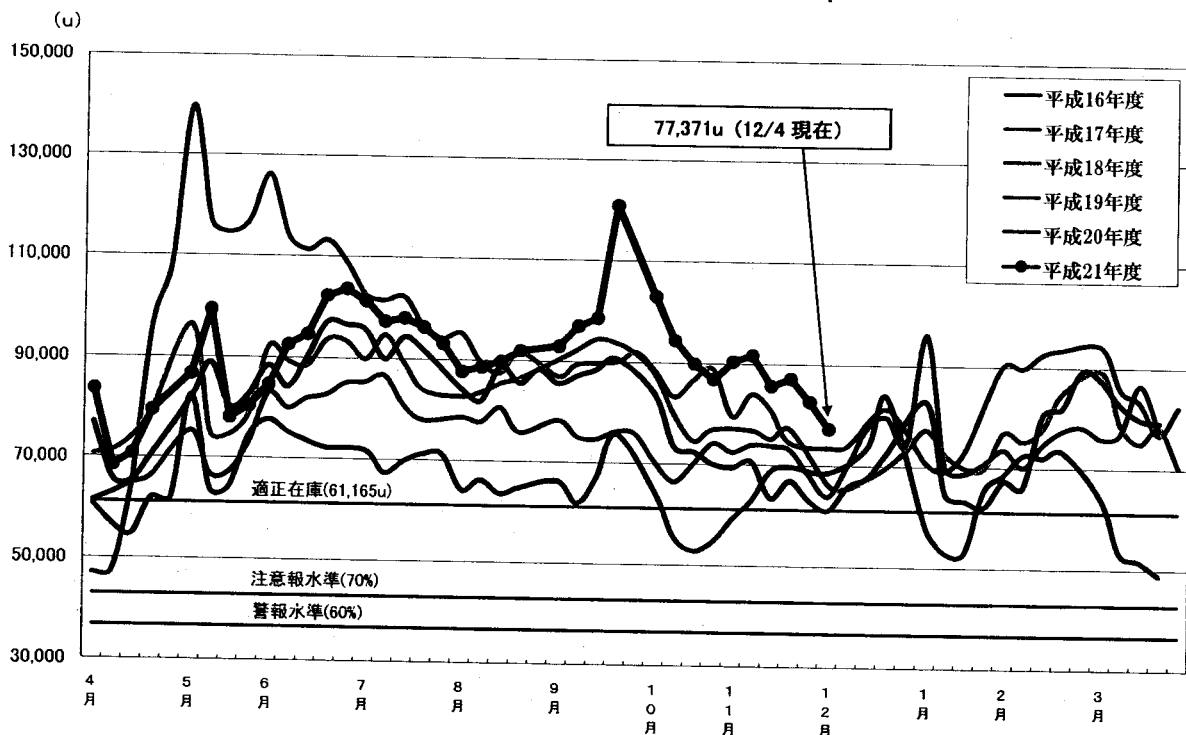


新型インフルエンザが更に蔓延した場合の 赤血球製剤在庫シミュレーションについて

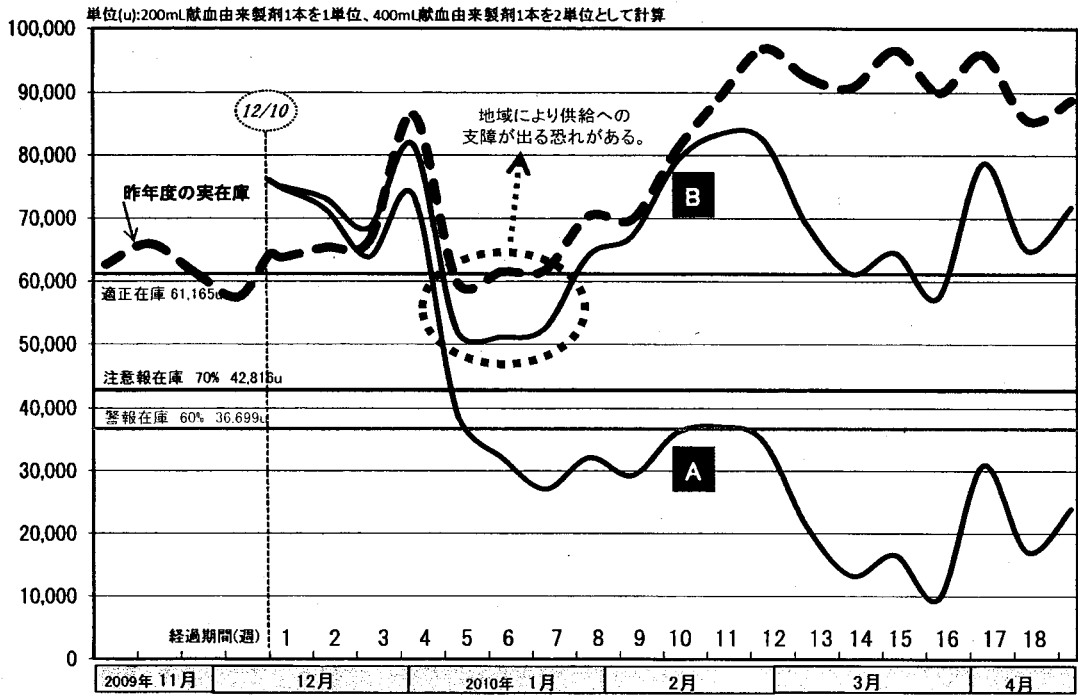
2009.12.10



年度別赤血球製剤在庫の推移 (全国集計)



新型インフルエンザが更に蔓延した場合の赤血球製剤在庫シミュレーション



パターン	採血数			供給数					適正在庫を下回った後 1ヶ月間における 献血確保必要量(u)
	減少率 1~4週	減少率 5~6週	減少率 7~8週	減少率 9~11週	減少率 12~14週	減少率 15~17週	減少率 18~20週	増加率 9~11週	
A	20%	15%	5%	10%	15%	10%	0%	10%	68,000
B	15%	10%	0%	10%	15%	10%	0%	10%	20,000

※上記Aパターンは、本年5月に発生した兵庫・大阪における新型インフルエンザ蔓延時の影響をもとに設定した。

英国渡航歴の献血制限緩和による献血増加予測(理論値)

単位:人

20年度献血申込者数(延べ)			
200mL献血	400mL献血	成分献血	計
703,964	3,743,734	1,757,485	6,205,183

英国に1日以上滞在歴がある者の割合 3.42%
*平成17年3月16~22日に8都道府県(北海道、宮城、東京、愛知、大阪、岡山、福岡、神奈川)の血液センターで調査実施

単位:人

滞在者全数に占める割合	滞在日数	献血申込者の増加予測数(最大理論値)/年			計
		200mL献血	400mL献血	成分献血	
88.8%	1-14(2週間)	21,400	113,700	53,400	188,500
94.9%	1-31(1ヶ月)	22,800	121,500	57,000	201,300
97.0%	1-93(3ヶ月)	23,400	124,200	58,300	205,900

